

第12回全国銃剣道指導者研修会



初心に返って基本動作の確認

全国各地の指導者が技能と知識を深めた3日間

第12回全国銃剣道指導者研修会（主催＝日本武道館、全日本銃剣道連盟、後援＝スポーツ庁）が11月14～16日の日程で、会場の日本武道館研修センターに62名の参加者が集まって実施された。

本研修会は、銃剣道を指導する指導者等を対象に行われ、南部さおり氏の講義では、体罰やハラスメント・熱中症について科学的なデータをもとに解説、目的別研修での中学校必修化対応・高校部活動では、スイカ割りのように参加者が目隠しをし、周囲の銃剣道特有の掛け声をもとに、ボールを突くなどのゲームも紹介された。

◇実施内容

- 1日目：『中学校武道必修化指導書』武道編 DVD 視聴
講演「武道・スポーツ指導における事故防止のための危機管理」（南部さおり）
学校授業における銃剣道指導法
- 2日目：目的別実技研修「中学校必修化対応 高校部活動」
「社会体育指導者」
情報交換会
- 3日目：講義「全日本銃剣道連盟における必修化への対応と取組」（市野保己）

◇講師一覧

- ・特別講師
南部さおり（日本体育大学 教授）
- ・講師
市野 保己（公益社団法人全日本銃剣道連盟 副会長兼専務理事）
佐藤 亨（公益社団法人全日本銃剣道連盟 副会長 福島県銃剣道連盟 副会長兼理事長）
瀬尾 憲次（公益社団法人全日本銃剣道連盟理事 鳥取県銃剣道連盟 理事長）
滝沢 元気（中学校武道指導法研究事業研究者 新潟県小千谷西高等学校 教諭）
石川 慎也（中学校武道指導法研究事業研究者 尽誠学園高等学校 教頭 全日本学生銃剣道連盟 会長）
田村 聖一（中学校武道指導法研究事業研究者 富士市立吉原第二中学校 教頭）
- ・助講師
山口あや子（陸上自衛隊 高射学校）
原川 龍弥（高知中央高等学校 教諭）
衛藤 敬輔（公益社団法人全日本銃剣道連盟 事業部次長）

研修会の模様



「講演：『武道・スポーツ指導における事故防止のための危機管理』」
体罰やハラスメント、熱中症について
理解を深める



「学校授業における銃剣道指導法」
指導者と実技者に分かれて基本動作等の指導・実習



「目的別実技研修『中学校必修化対応・高校部活動』」
演武を見学（銃剣道の技の説明）



「目的別実技研修『社会体育指導者』」
正しく突く、正しく引くことを目的とした
手作りのバーを用いた形試合の様子



「目的別実技研修『中学校必修化対応・高校部活動』」
ボールを使用したゲームを実践



「目的別実技研修『社会体育指導者』」
目標を正確にとらえるための風船突き



「目的別実技研修『中学校必修化対応・高校部活動』」
授業用の形に挑戦



「目的別実技研修『社会体育指導者』」
少年少女武道指導書を参考に基本動作・応用動作
形の実習



「目的別実技研修『中学校必修化対応・高校部活動』」
各ペアの演武についてよかったことや気づいたことを
グループで共有



「目的別実技研修『社会体育指導者』」
防具を付けて実技



「情報交換会」
銃剣道授業とジュニア競技人口の拡大について・研
修会に参加する意義と、指導者の参加意識向上につ
いてをテーマに分科会を実施



「講義『全日本銃剣道連盟における必修化への対応と取組』」
中学校での銃剣道授業の現状を
参加者のコーディネーターより説明

令和7年度参加者感想（抜粋）



本研修会を通して指導者としての責任や、生徒との信頼関係を築く上での配慮の大切さを再認識しました。また、実技では、基本動作や礼儀作法の重要性を改めて学び、今後の指導に生かしていきたいと感じました。その他、実際の指導要領に基づいた動作や、道具の扱い方を丁寧に学ぶことで、指導の質を高める重要性を実感しました。

武道の礼法として、立ち姿勢や座り方、礼の仕方など再確認できました。銃剣道の形と基本技の講習では、細部細かいところまで見直すことが出来ました。今回習ったことを、さらに勉強して自己の技術の向上と今後の指導力に活かしていきます。また中学生の体験授業に懇切丁寧に魅力がある銃剣道を教えていきます。



指導における事故防止と危機管理の重要性を改めて実感した。わずかな油断や判断の遅れが重大な結果につながることを学び、日々の稽古における安全確保の徹底が指導者の責務であると再認識した。指導前の環境確認や生徒の体調把握、技の段階的な指導など、基本的な安全管理を丁寧に積み重ねることの大切さを強く感じた。



段階的な教え方や言葉の使い方など、指導の組み立て方についても多くの具体例を学ぶことができ、今後の稽古にすぐ活かせる内容であった。今回の講習会で得た知識と気づきを実践に反映させ、初心者にも分かりやすく、安全で質の高い指導に努めていきたい。

